



碧南ロータリークラブ週報

第2957回例会 令和2年10月7日(水)

- 会長 岡本 明弘
- 幹事 鈴木 泰博
- 会場監督(SAA) 服部 弘史

2020-2021 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp

- 会報委員 林 俊行・石川鋼勇・牧野勝俊



ロータリーは機会の扉を開く

●本日のお弁当

大正館

会 長 挨拶

失礼致します。10月に入りまして、最高気温が30度を下回る日が続いております。季節が確実に変わってきたなと思います。先週の週末は観光地に人出が戻りまして、コロナ禍での動きが変わってきたような気がします。また、私たちの年度も3ヶ月という区切りを通過しまして、今から年末に向けて、また3ヶ月励まなければいかんなと思っております。



岡本明弘会長

10月はRIが重点分野を「地域社会の経済発展月間」としてしております。また、日本独自で「米山月間」が設定されております。クラブはこの月に特に米山奨学事業の意義を深く認識し、寄付金を募る活動をするということになっております。本日のクラブフォーラムは「米山記念奨学会とは」というテーマで、米山記念奨学委員会の長田豊治副委員長さんにお話をさせていただきます。よろしくお願い致します。

さて、7月から「温故知新」として、現在の奉仕と創設時の奉仕を繋げるために1枚の写真をご紹介させていただいてきました。お付き合いいただきまして、ありがとうございます。11月からは少しステージを変えてやっていきたいと思っておりますので、10月はあと4枚の写真をご紹介させていただきます。

そこで本日の1枚の写真は「ユーカリの森が誕生」で、アイサーブの観点でお話したいと思っております。1975年8月13日に碧南RCが碧南市にユーカリの苗木5,000本を寄贈しました。市はこれを県企業局に無償譲渡しまして、翌年にユーカリの森が誕生しました。碧南RCとしてはユーカリの苗木5,000本を寄贈したということで、緑化事業は完結してしまうのですが、この事業にはその前があります。当時よりも3年前に会員の植松唯四郎さんが緑化に熱心でありまして、オーストラリアで成長の早いユーカリを導入されました。植松さんは個

人的に苗木を育成して、町内会や老人クラブなどにユーカリの植樹を働きかけておられました。そして、碧南市内にユーカリの植樹運動が起き、この植樹事業の先頭に立って活動し、企業局に要望してきた結果、ユーカリの土地が造成されて願いがやっと実を結んだ訳です。また、植松さんは1973年～1974年に西三河分区の分区代理を務められた時にも、分区内のクラブを訪問されると、卓話でユーカリ植樹の話をされたようです。この活動ぶりに「ユーカリおじさん」というあだ名をつけられたようであります。個人でここまですると凄いなと私は思います。

ロータリーは個人奉仕でありまして、アイサーブの集合体であります。会員の皆様は地域の代表や団体の代表であります。その方が個人奉仕をすると、クラブの団体奉仕よりも遥かに大きなことができる訳です。ロータリークラブの値打ちはそのクラブが地域社会に対して、どのようなプロジェクトを実施したかということによって決まるのではないと思います。ロータリーの原点は個人奉仕にあるということをお伝えしまして、本日の会長告知と致します。

本日もよろしくお願ひ致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ ロータリーレート変更ということで、RI 日本事務局より 10 月のレートのお知らせが届いております。現行 1 ドル 106 円から 105 円になります。
- ・ ガバナー月信 10 月号掲載のお知らせが届いております。
- ・ 公益財団法人米山梅吉記念館賛助会入会のご案内が届いております。会員には、例祭のお知らせと共に年 2 回発行の館報を直接お送りします。入会希望の方は事務局へお申込みください。
- ・ 次週の例会終了後に第 1 回の次年度役員指名委員会を開催致しますので、関係の委員の方はよろしくお願ひ致します。
- ・ 本日の例会終了後に 205 号室で第 4 回の理事会を開催致しますので、関係者の方はよろしくお願ひ致します。



鈴木泰博幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 66 名 (内出席免除者 15 名の内出席者 12 名) 出席者 56 名	
出席対象者 56 / 63 名	出 席 率 88.89%
欠席者 10 名 (病欠者 0 名)	

<ニコボックス>

- 植松 敏樹君 先日、東京のギンザシックスにあります、観世能楽堂で「謡の会」があり、私は砧のシテ（主役）をやり、家元の観世清和師に地頭を努めていただきました。家元より「大変結構でした」とほめてもらいました。
- 木村 徳雄君 コロナでひまでゴルフの回数が増えて、昨年38回ゴルフしましたが、今年は50回はいきます。スコアーはたいした事なく楽しんでます。
- 角谷 修君 10月26日、還暦をむかえます。本日、花を頂きありがとうございます。
- 柴田奈生子君 東海東京フィナンシャルグループが、2020年10月1日に誕生20周年を迎える事になりました。

<親睦活動委員会>

会員誕生日

- 3日 黒田 昌司君 5日 清澤 聡之君 9日 平岩統一郎君
24日 岡島 晋一君 26日 角谷 修君（還暦）
29日 杉浦 勝典君

奥様誕生日

- 3日 山中 寛紀君の奥様 恭子様 6日 杉浦 栄次君の奥様 ちづる様
12日 小林 清彦君の奥様 登美子様 17日 谷川 勝哉君の奥様 かおり様
18日 奥田 雪雄君の奥様 万里子様 21日 宮地 秀夫君の奥様 陽子様
24日 森田 英治君の奥様 明美様 24日 伊藤 健児君の奥様 美由紀様
25日 平松 則行君の奥様 啓子様 25日 石川 鋼勇君の奥様 絵梨子様

結婚記念日

- 6日 藤関 孝典君・千智様 36年
8日 谷川 勝哉君・かおり様 25年（銀婚）
10日 伊藤 健児君・美由紀様 29年 17日 牧野 勝俊君・ひろみ様 33年
18日 鈴木きよみ君・正徳様 48年 23日 鈴木 健三君・美津子様 37年
24日 鈴木 並生君・まゆみ様 49年 26日 栗津 康之君・尚子様 29年
26日 大竹 密貴君・弥生様 24年 30日 植松 敏樹君・圭子様 53年

入会記念日

- 23日 宮地 秀夫君

「米山記念奨学会とは」

米山記念奨学委員会 副委員長 長田豊治君



長田豊治君

失礼致します。今月は米山月間ということでございますので、米山記念奨学会のことをお話しさせていただきたいと思っております。

まず、「奉仕の人 米山梅吉」ということで、米山梅吉は東京 RC を創立し、日本に初めてロータリーを導入しました。そして、東京 RC の初代会長に就任し、1924 年には RI のスペシャル・コミッショナーになり、日本のロータリーの発展の基礎を築いた偉大な方でありませす。

1868 年に東京芝田村町に生まれ、幼くして父を亡くしまして、母親の郷里である静岡県の三島で幼時を過ごしておりました。そして、11 歳の時に米山家より養子縁組の話が出まして、19 歳で米山家へ正式に養子になり、渡米をしております。8 年間の在米中、オハイオ州のウェスレヤン大学やニューヨーク州のシラキュース大学などで法学を学んでおります。この時に「巧遅拙速」という言葉に触れたりした訳であります。

その後、1896 年に勝海舟に師事し、東京博文館より「提督彼理（ペルリ）」を出版しております。また、静岡県駿東郡長泉村において、米山家の娘のはると結婚しております。翌年に長女が誕生し、井上馨侯の紹介で三井銀行へ入行しております。1898 年から欧米銀行業務視察の命令で、2 年間出張をしております。

1918 年、アメリカ視察中にダラス RC の会員である福島喜三次と出会いまして、1920 年に東京 RC を創立しました。この頃に息子や養父が亡くなっておられます。1924 に三井信託株式会社を創立し、取締役社長に就任しております。1937 年には財団法人緑岡小学校（現、青山学院初等部）を創立し、校長に就任しております。

その後、1938 年に貴族院議員に勅選される訳ですが、そうこうしておりますと、1940 年に戦争の影響でロータリークラブは解散してしまいますが、名前を変えて続けておりました。戦後、ようやくロータリークラブが復活しまして、どんどん増えてくる訳でございますが、1946 年 4 月 28 日に静岡県駿東郡長泉村大字下土狩別邸で亡くなられてしまいます。78 歳でした。奉仕がこの方の一生の仕事であったということでございます。

1952 年に日本で最初のロータリークラブを創立した米山梅吉の功績を記念して、東京 RC が米山奨学制度を設立しました。それが 1957 年に国内全クラブの合同事業として、ロータリー米山奨学委員会が結成され、全国組織となります。ロータリーにはロータリー財団というのがあって、それ以外は作ってはいけないという規定があるんですけども、米山記念奨学会は RI にも認められまして、今も続けております。この制度はほとんどが大学院の博士課程の学生を援助するというので、月額 14 万円という多額の奨学金を渡しております。しかも、このお金は返還しなくていいという凄い制度です。また、世話クラブ制度とカウンセラー制度が設置されております。そして、奨学生は月に 1 度例会に来て、そこで奨学金を受け取るということが決まっております。

過去に碧南 RC で 5 名の米山奨学生のお世話を致しました。最初は 1995 年 6 月～1996 年 3 月、名古屋大学大学院の土木工学専攻の韓国の方でした。カウンセラーは井上達夫さんが務められました。2 人目は 2001 年 6 月～2003 年 3 月、名古屋大学大学院の法律・政治専攻の中国の方でした。カウンセラーは杉浦昇一さんが務められました。3 人目は 2005 年 6 月～2006 年 3 月、愛知教育大学大学院の家政教育専攻の中国の方でした。カウンセラーは長田昌昇さんが務められました。4 人目は 2006 年 6 月～2007 年 7 月、愛知教育大学大学院の情報教育専攻の中国の方でした。カウンセラーは永坂隆一さんが務められました。5 人目は 2014 年 6 月～2016 年 3 月、南山大学人文学部のメキシコの方でした。カウンセラーは植松敏樹さんが務められました。

色んな変遷の中で、碧南 RC は米山奨学会に対しては米山功労者の皆様のご協力で、毎年沢山の寄付をしております。地区の中でも有数の額になっております。今後もこの伝統を続けていけたらいいなと思っておりますので、よろしくお願い致します。

ありがとうございました。

次回例会案内

令和 2 年 1 0 月 2 1 日 (水) 卓話 会員 平岩統一郎君